KENWOOD

コンパクト ハイファイ コンポーネントシステム

U-K323

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、製品を安全に正しくお使いいただくため、取扱説明書の
「安全上のご注意」、本文をよくお読みのうえ、説明の通りお使いください。
取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

もくじ

メンテナンス

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、本文での説明と重複する内容もあります）

⚠警告

異常のときは

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

電源コード・プラグについて

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしない。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。
電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して、火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となります。電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

設置について

交流 100 ボルトの電圧で使用する

この機器は、交流 100 ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついたものを置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

使用について

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

お手入れ

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

⚠注意

異常のときは

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースが壊れたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

設置について

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

設置について

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湿気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉め切った自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、スピーカーコード、その他接続コード類を全て外す。コードを抜かずに移動するとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

⚠注意

使用について

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となることがあります。

機器の内部に異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。火災・感電の原因となることがあります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となることがあります。点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

ディスク挿入口に手を入れない

手がはさまれて、けがの原因となることがあります。特にお子さまにはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。ディスクは機器内で高速に回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池について

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

・極性表示（プラス"＋"とマイナス"－"の向き）に注意し、表示どおりに入れる。
・指定の電池を使用する。
・使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
・違う種類の電池を混ぜて使用しない。
・充電池と乾電池を混ぜて使用しない。
・電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。
液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

安全上のご注意

⚠注意

音量について

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力傷害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聴かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

お手入れ

お手入れの際は電源プラグを抜く

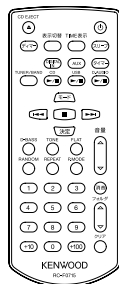
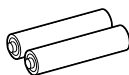
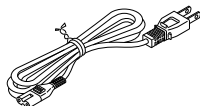
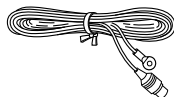
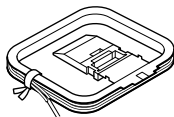
お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。感電の原因となることがあります。

定期的に内部の点検、清掃をする

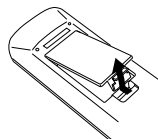
3 年に 1 度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄のケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。

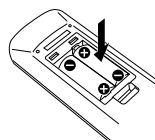
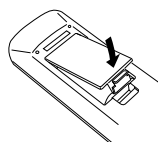
付属品について

付属品

リモコン
（RC-F0715：1個）

リモコン用乾電池
（単4形：２本）

電源コード
（1本）

FM室内アンテナ
（1個）

AMループアンテナ
（1個）

リモコンを準備する

リモコンに電池を入れる

❶電池カバーを外します。

❷付属の単4形乾電池を入れます。

- 電池の極性に注意して入れてください。

❸電池カバーを閉じます。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。
- 電池を交換するときは、2本とも新しい乾電池と交換してください。

⚠ 注意

電池を直射日光（炎天下）や火のそばなど高温となる場所に置かないでください。

発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。

設置するときは

本機を設置するときのご注意

- 必ず水平で安定した場所に設置してください。台などの上に設置する場合は、必ず台の強度を確認してください。
- スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠ 注意

機器を設置するときは、以下のことをお守りください。放熱が十分でないと内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

- 機器の上面に、放熱の妨げになるものを置かないでください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しないでください。
- 布をかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しないでください。
- 風通しの悪い狭い所で使用しないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　側面：10cm以上　背面：10cm以上

機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

また、電源スイッチを切っただけでは機器は電源から完全に遮断されません。完全に遮断するには、電源プラグを抜いてください。

本機の誤作動について

正しく接続したのに正常に動作しない場合や、ディスプレイが誤った表示をする場合は本機をリセットしてください。（49ページ）

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

著作権について

- 放送やCD、レコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したものを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

接続のしかた

基本接続

接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントへ差し込まないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

AMループアンテナ

「カチッ」と音がするまで溝に差し込みます。

「カチッ」

ANTENNA

AM

GND

FM 75Ω

FM室内アンテナ

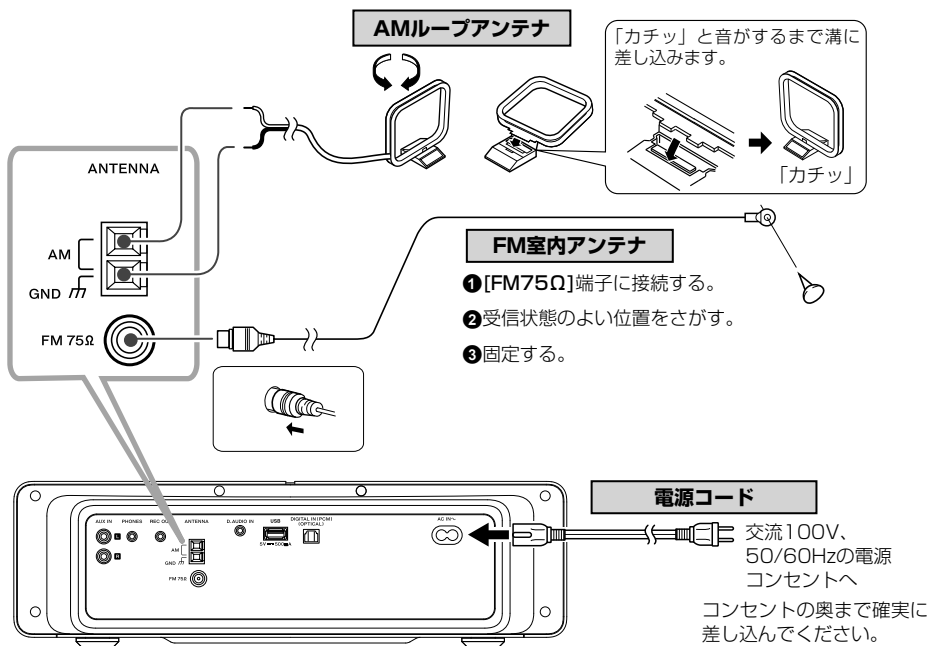
❶[FM75Ω]端子に接続する。

❷受信状態のよい位置をさがす。

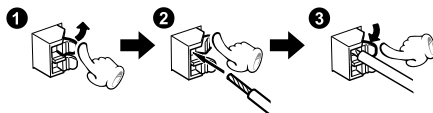
❸固定する。

電源コード

交流100V、50/60Hzの電源コンセントへ

コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、電源コードからできるだけ離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

・**アンテナコードの取り付けかた**
AMアンテナコードを右記のようにして、[AM]と[⏚GND]端子に接続します。

FM室内アンテナの接続

付属のアンテナは室内用の簡易アンテナです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販品）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続する場合には、簡易アンテナは取り外してください。

⚠ 屋外アンテナの設置上のご注意

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因になることがあります。

接続のしかた

他の機器（市販品）との接続

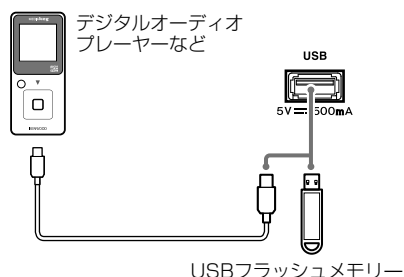
• 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
• 接続コードはすべて確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合は、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

接続上のご注意

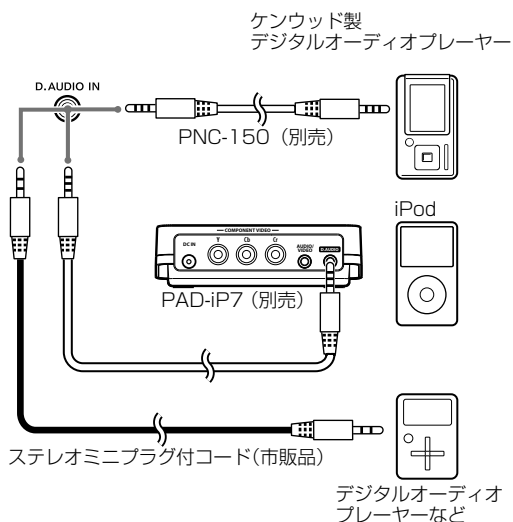
接続は必ずスタンバイ状態時に行い、接続が終了するまで電源をONにしないでください。接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源をOFFにしてから抜いてください。

USB (USB機器接続端子)

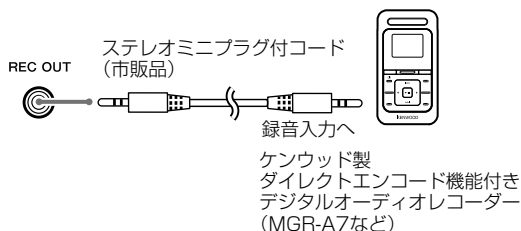
USBフラッシュメモリーやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを、本体背面部の**[USB]**端子に接続します。

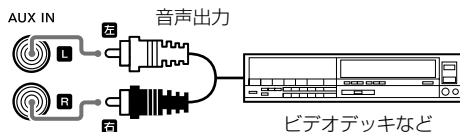
• 機器によっては、認識されるまでに時間がかかることがあります。
• USB接続モード選択画面が表示されるモデルがあります。「ストレージモード」を選んでください。
• USBハブなどを介してUSB機器を認識させることはできません。

D.AUDIO IN (D.AUDIO入力端子)

デジタルオーディオプレーヤーやiPodドック（PAD-iP7）を本体背面部の**[D.AUDIO IN]**端子に接続します。

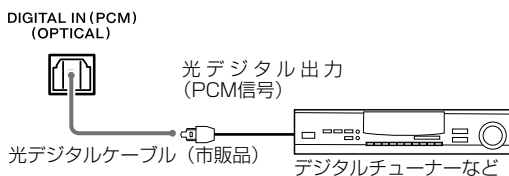
• デジタルオーディオリンク対応プレーヤー（ケンウッド製）を専用ケーブルPNC-150（別売）で接続すると､本機やリモコンを使って操作できます。またiPodは、専用アダプター PAD-iP7（別売）で接続するとiPodを操作できます。
• その他のデジタルオーディオプレーヤーは､ステレオミニプラグ付ケーブル（市販品）を使って接続します。
• お使いにならないときは、ケーブルを本体から抜いてください。

REC OUT（録音出力端子）

ケンウッド製ダイレクトエンコード機能付きデジタルオーディオプレーヤー /レコーダーを本体背面部の[REC OUT]端子に接続します。

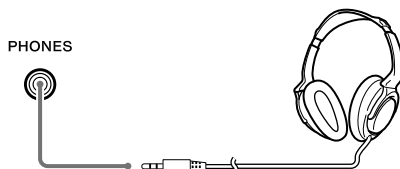
- [REC OUT]端子からはアナログ音声信号が出力されます。

AUX IN (外部入力端子)

ビデオデッキなどの音声出力端子を本体背面部の[AUX IN]端子に接続します。

DIGITAL IN (デジタルオーディオ入力端子)

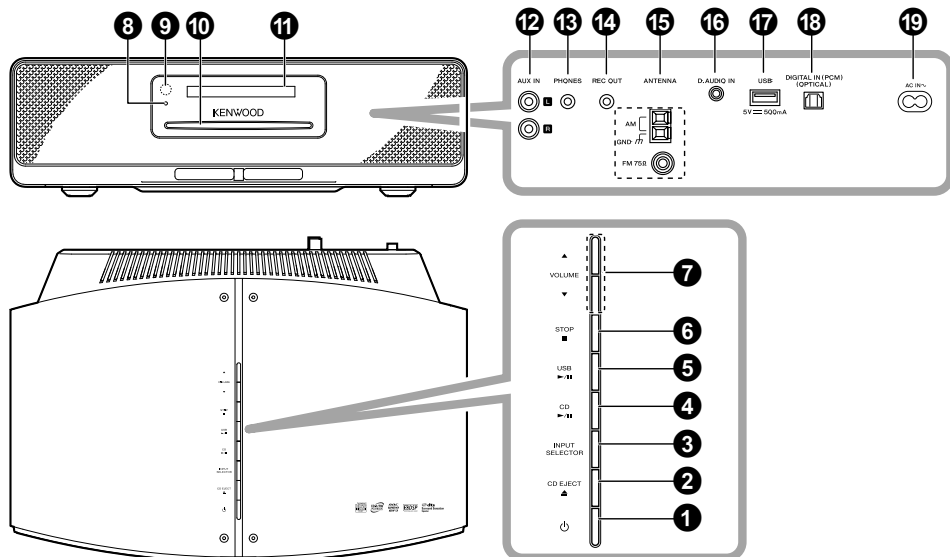
デジタルチューナーなどの光デジタル出力端子を本体背面部の[DIGITAL IN]端子に接続します。

- 接続機器のデジタル音声出力設定を「PCM」にしてください。

PHONES (ヘッドホン端子)

ステレオミニプラグ付のヘッドホンを本体背面部の[PHONES]端子に接続します。

ヘッドホンを接続すると、スピーカーから出る音は消音されます。

各部のなまえと働き

本体部

❶ ⏻（電源）

- 電源のON/OFF（スタンバイ）を切り替えます。

❷ CD EJECT ⏏（CDの取り出し）

- ディスクを取り出します。

❸ INPUT SELECTOR（音源切り替え）

- 音源を[FM]➡[AM]➡[D.AUDIO]➡[AUX]➡[DIGITAL IN]の順に切り替えます。

❹ CD►/II

- CD（ディスク）の再生/一時停止をします。

❺ USB►/II

- USB機器の再生/一時停止をします。

❻ STOP ■（停止）

- CD/USB/D. AUDIO機器の再生を停止します。
- ラジオを聞いているときは、オート選局とマニュアル選局を切り替えます。

❼ VOLUME ▲/▼ （音量調整）

- 音量を調整します。▲を押すと音量が上がり、▼を押すと音量が下がります。

❽ STANDBY/TIMERインジケーター

- 赤色：通常のスタンバイ状態
- 橙色：タイマースタンバイ状態

❾ リモコン受光部

❿ ディスク挿入口

⓫ ディスプレイ

⓬ AUX IN（外部入力端子）

⓭ PHONES（ヘッドホン端子）

- ステレオミニプラグ付のヘッドホンを接続します。

⓮ REC OUT（録音出力端子）

⓯ ANTENNA（FM/AMアンテナ接続端子）

- 付属のFM/AMアンテナを接続します。

⓰ D.AUDIO IN（D.AUDIO入力端子）

⓱ USB（USB機器接続端子）

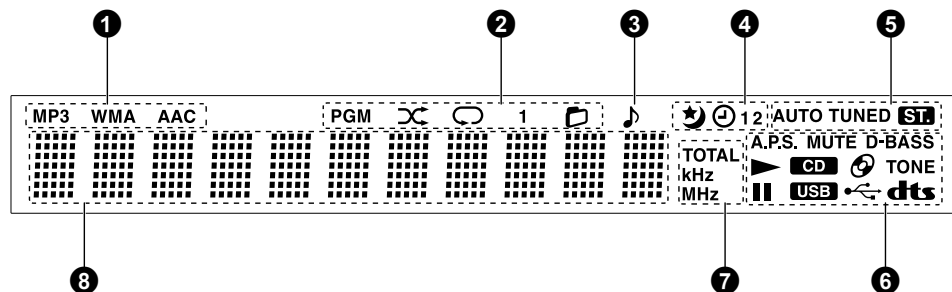
⓲ DIGITAL IN（デジタルオーディオ入力端子）

⓳ AC IN（電源入力端子）

- 付属の電源コードで交流100V、50/60Hzの電源コンセントに接続します。

スタンバイ状態について

本機の[STANDBY/TIMER]インジケーターが点灯中は、マイコン動作のため、微弱な通電が行われています。これをスタンバイ状態といいます。この状態のとき、リモコンで本機の電源をONにできます。

ディスプレイ部

❶ **再生しているオーディオファイルの種類(MP3/WMA/AAC)で点灯します。**

❷ **再生モードを設定すると点灯します。**

PGM：プログラム再生モード

⤮：ランダム再生モード

⟲1：リピート再生モード（1は1曲リピート）

🗀：フォルダ再生モード

❸ **♪：曲を再生/一時停止すると点灯します。**

❹ **スリープ/プログラムタイマーを設定すると点灯します。**

☾：スリープタイマー

◷1 ：プログラムタイマー 1

◷2 ：プログラムタイマー 2

◷12：プログラムタイマー 1/2

❺ **ラジオの受信状態などを表示します。**

AUTO

● オート選局時に点灯します。マニュアル選局時は消灯します。

TUNED

● 放送局を受信すると点灯します。

ST.

● ステレオ放送を受信すると点灯します。

❻ **音質設定やCD/USB機器などの状態を表示します。**

A.P.S.

● オートパワーセーブを設定すると点灯します。

MUTE

● ミュート（消音）中に点滅します。

D-BASS

● D-BASSを設定すると点灯します。

TONE

● TONEを設定すると点灯します。

►：再生中に点灯します。

❚❚：一時停止中に点灯します。

CD：音源をCDにすると点灯します。

USB：音源をUSB機器にすると点灯します。

◎：ディスクを入れると点灯します。

⭠：USB機器が接続されると点灯します。

dts：DTS サラウンドセンセーションを設定すると点灯します。

❼ **時間、ラジオ受信の周波数を表示します。**

TOTAL

● CD再生中、ディスク全体の経過時間および残り時間を表示するときに点灯します。

kHz

● AM受信周波数を表示すると点灯します。

● サンプリング周波数を表示すると点灯します。

MHz

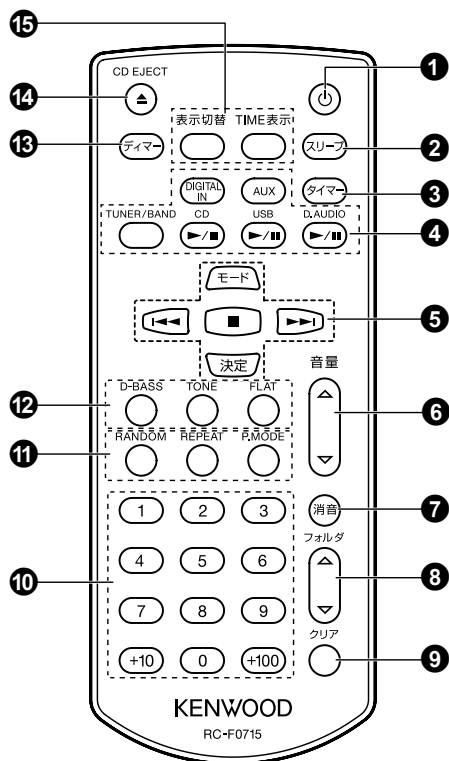
● FM受信周波数を表示すると点灯します。

❽ **数字および文字情報を表示します。**

・本文中のディスプレイ表示は実際の表示と異なる場合もあります。

各部のなまえと働き

リモコン部

❶ ⏻（電源）
- 電源のON/OFF（スタンバイ）を切り替えます。

❷ スリープ
- スリープタイマーを設定します。

❸ タイマー
- 設定したプログラムをON/OFFします。

❹ 音源を切り替えます。

DIGITAL IN
- DIGITAL INに切り替えます。

AUX
- AUXに切り替えます。

TUNER/BAND（ラジオ）
- 受信するバンド（FM/AM）を切り替えます。

CD►/II
- CD（ディスク）の再生/一時停止をします。

USB►/II
- USB機器の再生/一時停止をします。

D.AUDIO►/II
- D.AUDIO機器の再生/一時停止をします。

❺ 曲/放送局の選択や項目を設定します。

モード
- 本機の各種設定を行います。

■（停止）
- CD/USB/D. AUDIO機器の再生を停止します。
- ラジオを聞いているときは、オート選局とマニュアル選局を切り替えます。
- 各種設定を途中で中止します。

I◄◄/►►I
- 曲をスキップします。
- 押し続けると曲を早送り、早戻しします。
- ラジオを聞いているときは、放送局を選びます。
- 各種設定を選びます。

決定
- 項目を決定します。

❻ 音量 ▲/▼ （音量調整）
- 音量を調整します。▲を押すと音量が上がり、▼を押すと音量が下がります。

❼ 消音
- 音量を一時的に消音（ミュート）します。

❽ フォルダ ▲/▼
- フォルダを選択します。

❾ クリア
- プログラムやプリセットした局の設定を削除します。

❿ 数字
- 曲や放送局を選びます。

⓫ 再生モードを選択します。

RANDOM
- 順不同に再生します。

REPEAT
- 繰り返し再生します。

P.MODE
- 再生モードを切り替えます。

⓬ 音質設定をします。

D-BASS
- 低音域を強調します。

TONE
- 音質を調整します。
- DTS サラウンドセンセーションを設定します。

FLAT
- 調整された音質を原音に戻します。

⓭ ディマー
- ディスプレイの明るさを設定します。

⓮ CD EJECT ▲（CDの取り出し）
- ディスクを取り出します。

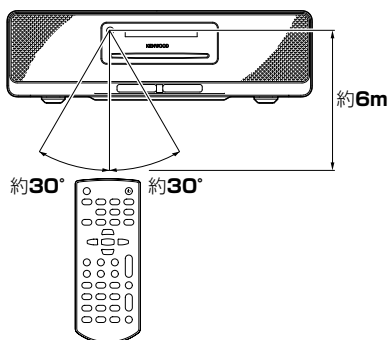
⓯ ディスプレイを切り替えます。

表示切替
- ディスプレイの表示内容を切り替えます。

TIME表示
- ディスプレイの時間表示を切り替えます。

- 本体部と同じ名前のボタンは、本体部と同じ働きをします。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの[⏻]を押すと、電源がONになります。電源をONしたら、操作したいボタンを押します。リモコンは本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。誤作動を避けるために設置場所を変えてください。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。スタンバイ状態のとき、[TUNER]、[CD►/❚❚]、[USB►/❚❚]、[D.AUDIO►/❚❚]、[DIGITAL IN]または[AUX]を押すと本機の電源がONになります。CD/USBは、自動的に再生が始まります。

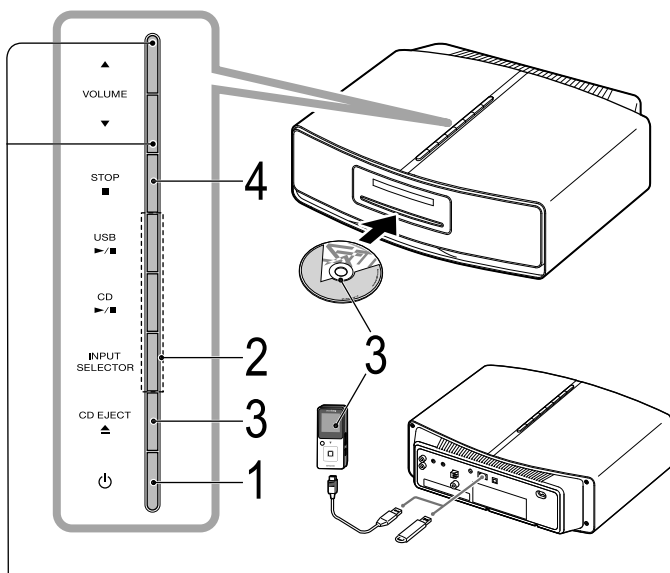
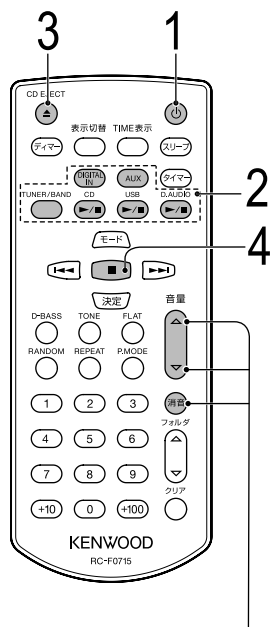
リジューム機能について

CD、USBなどの曲を再生中に停止し、再度[CD►/❚❚]、[USB►/❚❚]を押すと再生していた曲の先頭から再開します。

基本的な使いかた

本体による操作です。
この表記がある場合は、本体のボタンを押してください。

リモコンによる操作です。
この表記がある場合は、リモコンのボタンを押してください。

両方が表記されている場合は、リモコン、本体のどちらでも操作ができます。

音量を調節する

[音量]/[VOLUME]で調節する。

0 ～ 40（MAX）の間で調節できます。

• ボタンを押し続けると音量が早く切り替わります。

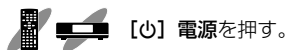
一時的に消音（ミュート）する

［消音］を押す。

"MUTE"が点滅表示されます。

■ ミュート解除するには ...

もう一度 **[消音]** を押す。（もとの音量に戻ります）または音量の調節をする。

1 電源をONにする（OFFにする）

［⏻］**電源**を押す。

- 各音源の再生／一時停止[►/II]ボタンを押しても、電源がONになります。（ワンタッチオペレーション機能について、17ページ）
- 電源がONのときに［⏻］を押すとOFF（スタンバイ状態）になります。

2 音源を切り替える

各音源の再生／一時停止ボタンを押す。

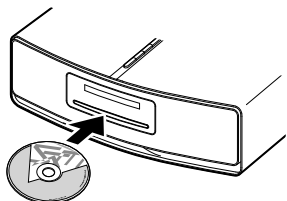
[TUNER]/[CD►/II]/[USB►/II]/[D.AUDIO►/II]/[DIGITAL IN]/[AUX]を押す。

[CD►/II]/[USB►/II] または **［INPUT SELECTOR］** を押す。

本体の **［INPUT SELECTOR］** を押すと音源を**[FM]➡[AM]➡[D.AUDIO]➡[AUX]➡[DIGITAL IN]**の順に切り替えます。

CD/USB機器の場合は、ディスクまたはUSB機器を本機にセットすると自動的に音源が切り替わります。

3 再生する音源をセットする

ディスクを入れる場合

レーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口の中央に挿入します。"LOADING"と表示され音源がCD **CD** に切り替わります。
ディスクがセットされると "💿" が点灯し自動的に再生します。

■ **ディスクを取り出すには ...**
CD EJECT［⏏］ を押す。 "EJECT"と表示されディスクが排出されます。

USB機器を挿し込む場合

挿し込む方向に注意して確実に挿し込んでください。"READING"と表示され音源がUSB **USB** に切り替わります。"⭠" が点灯し自動的にUSB機器を再生します。

■ **USB機器を取り外すには ...**
停止後、本機をスタンバイ状態にしてからUSB機器を引き抜きます。

4 再生する

接続した音源を再生します。

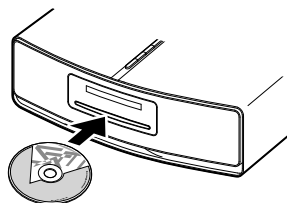
■ **CD(ディスク)/USB機器/D.AUDIOの再生を停止するには ...**
再生中に**[■]/[STOP■]**を押すと停止します。

CD/オーディオファイルを再生する

CDやオーディオファイルを記録したCD-ROM/CD-R/CD-RWを再生します。

- 再生できるファイルについては「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(44ページ)

曲を聞く

1 ディスクを入れ再生する

レーベル面を上にして、ディスクをディスク挿入口の中央に挿入します。"LOADING"と表示され音源がCD CD に切り替わります。ディスクがセットされると "⊘" が点灯し自動的に再生します。

CDを再生した場合

オーディオファイルを再生した場合

T001 1:23

CDのときは最初の曲から再生します。

オーディオファイルのときは、フォルダやファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。

- 複数のフォルダやオーディオファイルがある場合の再生の順番については、「フォルダやオーディオファイルの再生順について」をご覧ください。(45ページ)

- CD-TEXT対応のディスクでは、曲名やアルバム名などの文字情報が表示されます。

フォルダごとに再生する

オーディオファイルのみ

フォルダごとに再生するモードに設定します。選んだフォルダだけを再生し、すべての再生が終わると停止します。

- 音源をCDに切り替え、停止しておきます。

1 "🗀"（フォルダ再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに再生モードが切り替わります。

フォルダ再生モードを選択した場合

2 フォルダを選び再生する

［フォルダ ▲/▼］を押す。

フォルダ5を選択した場合

F005

フォルダを選択すると"FOLDER"と表示され選んだフォルダ内の曲を自動的に再生します。

■ **フォルダ再生モードを解除するには ...**

再生を停止し、［P.MODE］を押して通常の再生モードを選びます。

再生中/停止中のボタン操作一覧

動 作		操 作
ディスプレイの表示切り替え	リモコン	再生中または停止中に［表示切替］を押す。 押すたびに表示情報が切り替わります。（42 ページ）
時間表示切り替え	リモコン	［TIME表示］を押す。 押すたびに表示情報が切り替わります。（42 ページ）
停止	リモコン・本体	再生中に［■］/［STOP■］を押す。
一時停止	リモコン・本体	再生中に［CD►/II］を押す。 再度押すと解除します。
選曲	リモコン	［数字］ボタンを押す。 **曲番号の指定方法**：7 曲目→［7］を押す。 12 曲目→［+10］、［2］を押す。 103 曲目→［+100］、［3］を押す。
フォルダの選択（オーディオファイル）	リモコン	［フォルダ ▲/▼］を押す。
早送り/早戻り	リモコン	再生中に［I◄◄］/［►►I］を押し続ける。
曲のスキップ	リモコン	［►►I］を押す。
前の曲へ戻る	リモコン	［I◄◄］を連続して2回以上押す。
曲の頭出し	リモコン	［I◄◄］を1回押す。
ランダム再生（順不同に聞く）	リモコン	[RANDOM] を押す。 押すたびに切り替わります。 点灯：ランダム再生します。 ► 消灯：ランダム再生を解除します。 • ランダム再生中に[REPEAT]を押すと、ランダム再生が一通り終わってから前回のランダム再生と違う順番で新たにランダム再生が開始されます。 • ランダム再生中は再生済みの曲へスキップすることができません。
リピート再生（繰り返し聞く）	リモコン	[REPEAT] を押す。 押すたびに切り替わります。 1点灯：1曲だけリピート再生します。 ► 点灯：全曲リピート再生します。 ► 消灯：リピート再生を解除します。

CD/オーディオファイルを再生する

プログラムモードで再生する

CD/オーディオファイルの曲をお好きな順番で聞くことができます。

- 音源をCDに切り替え、停止しておきます。

1 "PGM"（プログラム再生モード）を選ぶ

[P.MODE] を押す。

押すたびに再生モードが切り替わります。

CDの場合

表示	モード
PGM 点灯	**プログラム再生モード**
▼	
消灯	通常の再生モード

オーディオファイルの場合

表示	モード
点灯	フォルダ再生モード
▼	
PGM 点灯	**プログラム再生モード**
▼	
消灯	通常の再生モード

CDでプログラム再生モードを選択した場合

P-01 ← T--

2 選曲する

CDの場合

[I◄◄] / [►►I] または [数字] ボタンで曲を選び、[決定] を押す。

7曲目をプログラムの1曲目に選んだ場合

P-01 ← T07

オーディオファイルの場合

[I◄◄] / [►►I] または [数字] ボタンでフォルダを選び、[決定] を押す。

[I◄◄] / [►►I] または [数字] ボタンでファイルを選び、[決定] を押す。

フォルダ003のファイル10を、プログラムの1曲目に選んだ場合

01←F003T010

入力を間違えたときは、[決定]を押す前に[クリア]を押して、再度入力しなおします。

- 32曲（ファイル）まで続けて選曲できます。

3 再生する

[CD►/II] を押す。

■ プログラムしたファイルを取り消すには ...

再生を停止してリモコンの [クリア] を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1つずつ取り消されます。

■ 後から曲を追加するには ...

再生中は、停止してから手順2を操作します。

■ プログラムモードを解除するには ...

再生を停止し、[P.MODE] を押して通常の再生モードを選びます。設定したプログラムは消去されます。

- 音源を切り替えたり、ディスクを取り出したり、電源をOFFすると設定したプログラムは消去されます。

デジタルオーディオプレーヤーを再生する

本機に接続したケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーやiPodを再生します。

- 接続可能なケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーやiPodについては「D.AUDIOの取り扱い」、「iPodの取り扱い」、をご覧ください。（46、47ページ）

曲を聞く

1 機器を接続する

[D.AUDIO IN]入力端子に別売品を使ってケンウッド製のデジタルオーディオプレーヤーやiPodを接続します。（12ページ）

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

2 音源を"D.AUDIO"に切り替える

[D.AUDIO►/II] を押す。

[INPUT SELECTOR] を押す。

音源をD.AUDIOに切り替えた場合

D.AUDIO

3 接続した機器の電源を入れ、再生する

- 本機へ接続している間は、機器側の音量、*音質設定が無効になります(*PAD-iP7で接続したiPodは除く)。同じ音量でも接続したD.AUDIOの音が、他の音源よりも小さく、または大きく感じた場合は「入力レベルを調整する」で入力レベルを調整します。（27ページ）

再生中/停止中のボタン操作一覧

動 作	操 作
停止	再生中に [■] / [STOP■] を押す。
一時停止	再生中に [D.AUDIO►/II] を押す。 再度押すと解除します。
フォルダのスキップ	[フォルダ ▲/▼] を押す。
早送り/早戻り	再生中に [I◄◄] / [►►I] を押し続ける。
ファイルのスキップ	[►►I] を押す。
前のファイルへ戻る	[I◄◄] を連続して2回以上押す。
ファイルの頭出し	[I◄◄] を1回押す。

- 接続した機器によっては操作できないものもあります。

■ 接続専用ケーブル機器について

別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）やPAD-iP7（iPod専用アダプター）で接続すると、本機やリモコンで機器を操作できます。

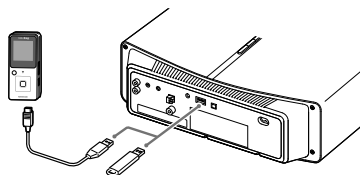
詳しい接続や設置のしかたについては、PNC-150またはPAD-iP7に付属の取扱説明書をご覧ください。

USBを再生する

USBフラッシュメモリやUSBマスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーをUSB接続して、曲（オーディオファイル）を再生します。

- 再生できるファイルについては「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。(44ページ)

曲を聞く

1 USB機器を接続して再生する

本体のUSB端子にUSBフラッシュメモリ、またはUSBオーディオプレーヤーのUSBケーブルを接続します。（12ページ）接続する外部機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

USB機器を接続すると、"READING"と表示され音源がUSB USB に切り替わります。"⭠" が点灯し自動的にUSB機器を再生します。

T001 1:23

フォルダやファイルを検索して最小ファイルナンバーから再生を開始します。

- 複数のフォルダやオーディオファイルがある場合の再生の順番については、「フォルダやオーディオファイルの再生順について」をご覧ください。(45ページ)

- 再生可能なファイルがないときは、再生は開始されません。
- デジタルHDDオーディオプレーヤーを接続した場合は、HDDシステム上、一時停止から再生開始したときに音切れが発生する場合があります。

フォルダごとに再生する

フォルダごとに再生するモードに設定します。

選んだフォルダだけを再生し、すべての再生が終わると停止します。

- 音源をUSBに切り替え、停止しておきます。

1 "🗀"（フォルダ再生モード）を選ぶ

[P.MODE] を押す。

押すたびに再生モードが切り替わります。

フォルダ再生モードを選択した場合

2 フォルダを選び再生する

[フォルダ ▲/▼] を押す。

フォルダ5を選択した場合

F005

フォルダを選択すると"FOLDER"と表示され選んだフォルダ内の曲を自動的に再生します。

■ フォルダ再生モードを解除するには ...

再生を停止し、**[P.MODE]** を押して通常の再生モードを選びます。

再生中/停止中のボタン操作一覧

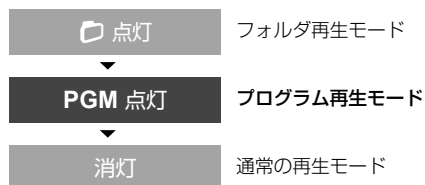
動 作	操 作
ディスプレイの表示切り替え	再生中または停止中に［表示切替］を押す。 押すたびに表示情報が切り替わります。(42 ページ)
停止	再生中に［■］/［STOP■］を押す。
一時停止	再生中に［USB►/II］を押す。 再度押すと解除します。
選曲	［数字］ボタンを押す。 **ファイルナンバーの指定方法：** 7 番目のファイル→［7］を押す。 12 番目のファイル→［+10］、［2］を押す。 103 番目のファイル→［+100］、［3］を押す。
フォルダ、ファイルの選択	フォルダ選択：［フォルダ ▲/▼］を押す。 ファイル選択：［I◄◄］/［►►I］を押す。
早送り/早戻り	再生中に［I◄◄］/［►►I］を押し続ける。
ファイルのスキップ	［►►I］を押す。
前のファイルへ戻る	［I◄◄］を連続して2回以上押す。
ファイルの頭出し	［I◄◄］を1回押す。
ランダム再生（順不同に聞く）	［RANDOM］を押す。 押すたびに切り替わります。 点灯：ランダム再生します。 ► 消灯：ランダム再生を解除します。 • ランダム再生中に［REPEAT］を押すと、ランダム再生が一通り終わってから前回のランダム再生と違う順番で新たにランダム再生が開始されます。 • ランダム再生中は再生済みのファイルへスキップすることができません。
リピート再生（繰り返し聞く）	［REPEAT］を押す。 押すたびに切り替わります。 1点灯：1曲だけリピート再生します。 ► 点灯：全曲リピート再生します。 ► 消灯：リピート再生を解除します。

USBを再生する

プログラムモードで再生する

オーディオファイルをお好きな順番で聞くことができます。

・音源をUSBに切り替え、停止しておきます。

1 "PGM"（プログラム再生モード）を選ぶ

［P.MODE］を押す。

押すたびに再生モードが切り替わります。

2 選曲する

［I◄◄］/［►►I］または**［数字］**ボタンでフォルダを選び、**［決定］**を押す。

［I◄◄］/［►►I］または**［数字］**ボタンでファイルを選び、**［決定］**を押す。

フォルダ003のファイル10を、プログラムの1曲目に選んだ場合

01 F003T010

入力を間違えたときは、**[決定]**を押す前に**[クリア]**を押して、再度入力しなおします。

・32曲（ファイル）まで続けて選曲できます。

3 再生する

［USB►/II］を押す。

■ プログラムしたファイルを取り消すには ...

再生を停止してリモコンの**［クリア］**を押します。押すたびに、最後にプログラムした曲から順に1つずつ取り消されます。

■ 後から曲を追加するには ...

再生中は、停止してから手順2を操作します。

■ プログラムモードを解除するには ...

再生を停止し、**［P.MODE］**を押して通常の再生モードを選びます。設定したプログラムは消去されます。

・電源をOFFにしたり、プログラム再生を設定したUSB機器を外すと、設定したプログラムは消去されます。

外部機器を再生する

本機に外部機器をAUX IN/DIGITAL INに接続して再生します。

外部機器を再生する

1 外部機器を接続する

本体背面の[AUX IN]端子または[DIGITAL IN]入力端子に、外部機器を接続します。（13ページ）

- 接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 本機と外部機器の電源を必ずOFFにして接続してください。

2 音源を"AUX"または"D-IN"に切り替える

[AUX] または [DIGITAL IN] を押す。

[INPUT SELECTOR] を押す。

音源をAUXに切り替えた場合

AUX

音源をDIGITAL INに切り替えた場合

D-IN 44.1 kHz

サンプリング周波数

- DIGITAL INを選んだときは、入力信号のサンプリング周波数が表示されます。本機で再生できるデジタル信号は、PCM(32kHz/44.1kHz/48kHz)です。

3 接続した外部機器を再生する

- 同じ音量でも接続した外部機器の音が、他の音源よりも小さく、または大きく感じた場合は「入力レベルを調整する」で入力レベルを調整します。（27ページ）

入力レベルを調整する（INPUT LEVEL）

同じ音量でも接続した外部機器の音が、他の音源よりも小さく、または大きく感じた場合は入力レベルを、－3～+5の範囲で調整できます。

1 音源を"AUX"または"D.AUDIO"に切り替える

2 セットアップモードにする

[モード] を押す。

3 "INPUT LEVEL"を選択する

[I◀◀] / [▶▶I] で選び、[決定] を押す。

INPUT LEVEL

4 入力レベルを調整する

[I◀◀] / [▶▶I] で選び、[決定] を押す。

入力レベルを"+3"にした場合

LEVEL +3

- 入力レベルの調整は手順1で選んだ音源に対してのみ有効です。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットアップモードを終了します。

- 入力レベルを調整すると、[AUX IN]、[D.AUDIO IN]端子に接続された外部機器から録音するときの音量も変わります。

ラジオ放送を聞く

FM/AMの放送局を選んで聞きます。

ラジオ放送を聞く

1 "FM"または"AM"に切り替える

[TUNER/BAND]を押す。

押すたびに受信バンドが切り替わります。

表示	
FM 点灯	FMバンド
▼	
AM 点灯	AMバンド

[INPUT SELECTOR]を押す。

音源をFMに切り替えた場合

01 FM 79.50

2 放送局を選ぶ

メモリーした放送局から選ぶ場合(プリセットコール)

メモリーした放送局をプリセット番号(01 ～ 40)から選びます。

[I◄◄] / [►►I]を押す。

プリセット番号27を選んだ場合

27 FM 85.10

- ボタンを押し続けるとプリセット番号を約0.5秒の間隔で切り替えることができます。
- プリセット番号を直接入力することもできます。

[数字]ボタンで選ぶ。
プリセット番号27の場合 →
[+10]を2回、[7]を1回を押す。

メモリーしていない放送局から選ぶ場合(オート選局/マニュアル選局)

❶選局方法を決めます。

[■] / [STOP■]を押す。

押すたびに受信モードが切り替わります。

表示	
AUTO 点灯	**オート選局** 電波状況の良いときに自動受信します。
▼	
AUTO 消灯	**マニュアル選局** 電波状況の悪いときに手動で周波数を変えて受信します。

オート選局を選んだ場合

AUTO TUNE

❷放送局を選びます。

[I◄◄] / [►►I]を押す。

■ **オート選局の場合**

押すたびに次の放送局を自動受信します。

■ **マニュアル選局の場合**

押すたびに周波数が1ステップずつ変わります。押し続けると周波数が早送りになります。

- オート選局、マニュアル選局中は音が出ません。
- オート選局はステレオ受信、マニュアル選局はモノラル受信になります。受信すると"TUNED"が点灯します。ステレオ受信すると"ST."が点灯します。

放送局を自動でメモリーさせる（エリアバンド）

エリアを指定することで、指定したエリアの放送局をプリセットチャンネルにメモリーして、放送局名を表示することができます。

- 表示できる放送局は「放送局リスト」（30、31ページ）をご覧ください。
- 音源をFMまたはAMに切り替えておきます。

1 セットアップモードにする

［モード］を押す。

2 "エリアバンド"を選ぶ

［I◄◄］／［►►I］で選び、
［決定］を押す。

エリアバンド

3 "エリア"（お住まいの地域）を選ぶ

［I◄◄］／［►►I］で選ぶ。

ホッカイドウ

⋮

カントウ

⋮

キュウシュウ・オキナワ

- お住まいのエリアが変わった場合はもう一度記憶させてください。

4 放送局をメモリーさせる

［決定］を押す。

"COMPLETE"と表示され放送局がメモリーされます。放送局がメモリーされると、プリセット番号01を受信した状態になります。

01 FM 76.10

- ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局が正しく表示されない場合があります。

放送局リスト

北海道（ホッカイドウ）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
1	エフエム北海道	FM	80.4 MHz
2	エフエム・ノースウェーブ		82.5 MHz
3	NHK FM		85.2 MHz
4	NHK 第 1	AM	567 kHz
5	NHK 第 2		747 kHz
6	北海道放送		1,287 kHz
7	STV ラジオ		1,440 kHz

東北（トウホク）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
1	エフエム岩手	FM	76.1 MHz
2	エフエム仙台		77.1 MHz
3	エフエム青森		80.0 MHz
4	エフエム山形		80.4 MHz
5	エフエム福島		81.8 MHz
6	NHK FM		82.5 MHz
7	エフエム秋田		82.8 MHz
8	IBC 岩手放送	AM	684 kHz
9	NHK 第 1		891 kHz
10	山形放送		918 kHz
11	秋田放送		936 kHz
12	NHK 第 2		1,089 kHz
13	青森放送		1,233 kHz
14	東北放送		1,260 kHz
15	ラジオ福島		1,458 kHz

関東（カントウ）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
1	エフエムインターウェーブ	FM	76.1 MHz
2	エフエム栃木		76.4 MHz
3	ベイエフエム		78.0 MHz
4	放送大学		78.8 MHz
5	エフエムナックファイブ		79.5 MHz
6	エフエム東京		80.0 MHz
7	J-WAVE		81.3 MHz
8	NHK FM		82.5 MHz
9	エフエム富士		83.0 MHz

関東（カントウ）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
10	横浜エフエム放送	FM	84.7 MHz
11	エフエム群馬		86.3 MHz
12	NHK 第 1	AM	594 kHz
13	NHK 第 2		693 kHz
14	山梨放送		765 kHz
15	TBS ラジオ＆コミュニケーションズ		954 kHz
16	文化放送		1,134 kHz
17	茨城放送		1,197 kHz
18	ニッポン放送		1,242 kHz
19	ラジオ日本		1,422 kHz
20	栃木放送		1,530 kHz

中部（チュウブ）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
1	福井エフエム放送	FM	76.1 MHz
2	エフエムラジオ新潟		77.5 MHz
3	ZIP-FM		77.8 MHz
4	三重エフエム放送		78.9 MHz
5	新潟県民エフエム放送		79.0 MHz
6	静岡エフエム放送		79.2 MHz
7	愛知国際放送		79.5 MHz
8	長野エフエム放送		79.7 MHz
9	岐阜エフエム		80.0 MHz
10	北日本放送		80.1 MHz
11	エフエム石川		80.5 MHz
12	エフエム愛知		80.7 MHz
13	NHK FM		82.5 MHz
14	富山エフエム放送		82.7 MHz
15	NHK 第 1	AM	729 kHz
16	北日本放送		738 kHz
17	福井放送		864 kHz
18	NHK 第 2		909 kHz
19	中部日本放送		1,053 kHz
20	信越放送		1,098 kHz
21	北陸放送		1,107 kHz
22	新潟放送		1,116 kHz
23	東海ラジオ		1,332 kHz
24	静岡放送		1,404 kHz
25	岐阜放送		1,431 kHz

近畿（キンキ）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
1	関西インターメディア	FM	76.5 MHz
2	エフエム滋賀		77.0 MHz
3	FM802		80.2 MHz
4	NHK FM		82.8 MHz
5	エフエム大阪		85.1 MHz
6	NHK FM		86.5 MHz
7	NHK FM		88.1 MHz
8	エフエム京都		89.4 MHz
9	Kiss-FM KOBE		89.9 MHz
10	ラジオ関西	AM	558 kHz
11	NHK 第 1		666 kHz
12	NHK 第 2		828 kHz
13	朝日放送		1,008 kHz
14	京都放送		1,143 kHz
15	毎日放送		1,179 kHz
16	大阪放送		1,314 kHz
17	和歌山放送		1,431 kHz

中国/四国（チュウゴク・シコク）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
1	岡山エフエム放送	FM	76.8 MHz
2	エフエム山陰		77.4 MHz
3	広島エフエム放送		78.2 MHz
4	エフエム香川		78.6 MHz
5	エフエム山口		79.2 MHz
6	エフエム愛媛		79.7 MHz
7	エフエム徳島		80.7 MHz
8	エフエム高知		81.6 MHz
9	NHK FM		88.3 MHz
10	NHK 第 2	AM	702 kHz
11	山口放送		765 kHz
12	高知放送		900 kHz
13	山陰放送		900 kHz
14	NHK 第 1		1,071 kHz
15	南海放送		1,116 kHz
16	四国放送		1,269 kHz
17	中国放送		1,350 kHz
18	西日本放送		1,449 kHz
19	山陽放送		1,494 kHz

九州/沖縄（キュウシュウ・オキナワ）

プリセット番号	放送局	バンド	周波数
1	九州国際エフエム	FM	76.1 MHz
2	エフエム熊本		77.4 MHz
3	エフエム佐賀		77.9 MHz
4	エフエム九州		78.7 MHz
5	エフエム長崎		79.5 MHz
6	エフエム鹿児島		79.8 MHz
7	エフエム福岡		80.7 MHz
8	エフエム宮崎		83.2 MHz
9	NHK FM		84.8 MHz
10	NHK 第一		85.2 MHz
11	エフエム沖縄		87.3 MHz
12	エフエム大分		88.0 MHz
13	AFN 沖縄		89.1 MHz
14	NHK 第 1	AM	612 kHz
15	琉球放送		738 kHz
16	ラジオ沖縄		864 kHz
17	宮崎放送		936 kHz
18	NHK 第 2		1,017 kHz
19	大分放送		1,098 kHz
20	南日本放送		1,107 kHz
21	熊本放送		1,197 kHz
22	長崎放送		1,233 kHz
23	アール・ケー・ビー毎日放送		1,278 kHz
24	九州朝日放送		1,413 kHz
25	NBC ラジオ佐賀		1,458 kHz

ラジオ放送を聞く

放送局を手動でメモリーさせる（マニュアルプリセット）

受信中のFM/AM放送局をプリセット番号を指定してメモリーします。すでに放送局を記憶させてあるプリセット番号に重ねて記憶させると、新しい設定に変更されます。

・FM、AM合わせて最大40局までメモリーできます。

1 メモリーしたい放送局を受信する

オート選局またはマニュアル選局で受信します。（28ページ）

2 受信した放送局を確定する

［決定］を押す。

3 メモリーさせたいプリセット番号（01 ～ 40）を選ぶ

［I◀◀］/［▶▶I］を押す。

プリセット番号35を選んだ場合

35 FM 81.30

・プリセット番号を直接入力することもできます。

［数字］ボタンで選ぶ。
プリセット番号35の場合 →
［+10］を3回、**［5］**を1回を押す。

4 放送局をメモリーさせる

［決定］を押す。

"COMPLETE"と表示され放送局がメモリーされます。

・続けて記憶させたいときは、手順1 ～ 4を繰り返します。

・プリセットしても電波状況が悪い場合は受信できません。

メモリーした放送局を削除する

メモリーされている放送局のプリセット番号を指定して削除します。

・音源をFMまたはAMに切り替えておきます。

1 削除したい放送局をプリセット番号から選ぶ

[I◄◄] / [►►I] を押す。

プリセット番号11にメモリーされた局を選んだ場合

11 FM 80.00

・プリセット番号を直接入力することもできます。

[数字] ボタンで選ぶ。

プリセット番号11の場合 →
[+10] を1回、**[1]** を1回を押す。

・プリセット番号40は消せません。

2 削除したいプリセット番号を再確認する

[クリア] を押す。

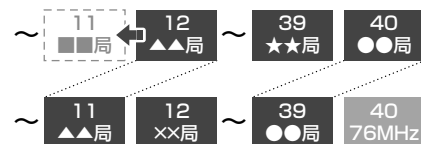
"CLEAR?"と表示します。

CLEAR? P11

3 削除する

"CLEAR?"と表示されている間に
[決定] を押す。

選択した放送局は削除されます。削除したプリセットチャンネル以降は前に詰められます。

例）プリセット11の■■局を消した場合

空いてしまうプリセット番号には自動的に76MHzが記憶されます。

音質を調整する

低音を強調する（D-BASS）

お好みに合わせて、低音域のレベルを0（D-BASS OFF）～10の範囲で調整できます。

1 D-BASSを選ぶ

[D-BASS]を押す。

2 好みのレベルに調整する

[I◄◄] / [►►I] を押す。

一段階ごとにレベルが調整できます。

D-BASS　0　低音域のレベル設定無し。

▼▲

D-BASS　5

▼▲

D-BASS　10　低音域が強調されます。

D-BASSが設定されると"**D-BASS**"が点灯します。

3 確定する

[決定] を押す。

音質を調整したりサラウンドで音楽を楽しむ（TONE）

低音（BASS）と高音（TREBLE）の音量を、それぞれ－6～＋6の範囲で調整できます。またDTS Surround Sensation（DTSサラウンドセンセーション）を設定すると3次元サラウンドで臨場感のある音楽を楽しむことができます。

1 TONEを選ぶ

[TONE]を押す。

押すたびに次の順で切り替わります。

2 調整したい音域を選んで好みのレベルに調整か、DTSを選んでサラウンドを設定する

■ "BASS"/"TREBLE"を選んだ場合

[I◄◄] / [►►I] を押す。

一段階ごとにレベルが調整できます。

BASS　+6　大きくなります。

▼▲

BASS　0

▼▲

BASS　-6　小さくなります。

トーンが設定されると"**TONE**"が点灯します。

■ "Surr Sens"を選んだ場合

［I◄◄］/［►►I］を押す。

押すたびに次の順で切り替わります。

DTS OFF	サラウンドを、OFFします。
▼▲	
DTS ON : 1	サラウンドを、ONします。
▼▲	
DTS ON : 2	さらに効果を、強調します。

DTSサラウンドセンセーションが設定されると"dts"が点灯します。

3 確定する

［決定］を押す。

- 音質の調整(BASS/TREBLE)とDTSサラウンドセンセーション(dts)は、同時に設定できません。
- DTSサラウンドセンセーション(dts)の設定は、ヘッドホンを接続すると解除されます。ヘッドホンを取りはずすと、元に戻ります。

調整された音質を原音に戻す（FLAT）

D-BASS、TONEの調整値をすべてフラットにして、原音をそのまま再生します。

1 FLATを選ぶ

［FLAT］を押す。

押すたびにFLAT/UNDO（解除）が切り替わります。FLATにすると"D-BASS"、"TONE"、"dts"が解除され、表示が消灯します。

FLAT

- [FLAT]を押すと低音の強調（D-BASS）と音質の調整(TONE)、およびDTSサラウンドセンセーション(dts)が解除されます。もう一度押すと低音の強調と音質の調整、およびDTSサラウンドセンセーション設定が元の状態に戻ります。

本機の設定を変更する

時計を設定する (TIME ADJUST)

本機の曜日と時間を設定します。

1 セットアップモードにする

[モード] を押す。

2 "TIME ADJUST"を選択する

[I◄◄] / [►►I] で選び、
[決定] を押す。

TIME ADJUST

3 曜日、時、分を設定する

曜日、時、分の順に設定します

[I◄◄] / [►►I] で選び、
[決定] を押す。

SUN 12:01am

・昼 の12:00は（12:00 pm）、 夜 の12:00は（12:00 am）と表示されます。

4 確定する

[決定] を押す。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットアップモードを終了します。

■ 電源OFF(スタンバイ状態)のときに時刻を表示するには ...

[■] / [STOP■] を押す。

時刻を5秒間表示します。

TUE 12:45pm

・電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度、時計を設定してください。
・時計の精度には若干の誤差がありますので、定期的に時計を合わせることをお勧めします。

スリープタイマーを設定する（SLEEP）

音源を聞いている最中や聞く前に、スリープタイマー(10分から最大90分まで)を設定すると、設定時間後に再生を終了して自動的に電源をOFFします。

1 スリープタイマーを設定する

[スリープ] を押す。

押すたびに設定時間が切り替わります。

スリープタイマーを30分に設定した場合。

SLEEP 30

スリープタイマーが設定されると"☾"が点灯します。

■ **設定後、スリープタイマーの残り時間を確認するには ...**

[スリープ] を押す。

タイマーの残り時間を5秒間表示します。

SLEEP 18

- [スリープ]を押すと、残りの時間を起点としてスリープタイマーの設定を行うことができます。

本機が以下の状態のときは、スリープタイマーは設定できません。

- スタンバイ中
- 電源OFFの処理を行っているとき
- 時計/プログラムタイマーの設定中

プログラムタイマーを設定する (TIMER SET)

プログラム予約によって指定した曜日、時間に、ラジオ放送やCD、USB機器などを聞くことができます。

プログラムは2つまで設定可能です。

- 時計を正確な時間に合わせておいてください。「時計を設定する (TIME ADJUST)」をご覧ください。(36ページ)
- プログラムタイマーを複数セットする場合は、プログラムどうしの時間設定の間隔を1分以上空けて設定してください。

1 セットアップモードにする

[モード] を押す。

2 "TIMER SET"を選ぶ

[I◄◄] / **[►►I]** で選び、
[決定] を押す。

TIMER SET

3 プログラム番号を選ぶ

[I◄◄] / **[►►I]** で選び、
[決定] を押す。

PROG. 1 SET	プログラム1の選択
▼	
PROG. 2 SET	プログラム2の選択

プログラム1を選択した場合。

PROG.1 SET

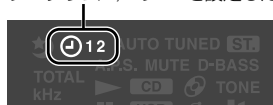
4 プログラム項目を選び決定する。

[I◄◄] / **[►►I]** で選び、
[決定] を押す。

ON/OFF	タイマーのON/OFFを選ぶ
▼	
EVERYDAY	曜日を選ぶ
▼	
ON TIME	開始時刻を選ぶ
▼	
OFF TIME	終了時刻を選ぶ
▼	
PLAY MODE	タイマーの動作モードを選ぶ
▼	
VOLUME	再生する音量を選ぶ
▼	
PLAY SOURCE	音源を選ぶ

設定項目に関しては「プログラム項目一覧」をご覧ください。(39ページ)

すべて設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットアップモードを終了します。

プログラム1,2の2つを設定した場合

5 電源をOFFにする

[⏻] 電源を押す。

[STANDBY/TIMER]インジケーターが橙色に点灯します。

- 電源プラグを差しなおしたり停電があった場合は、再度、時計を設定してください。(36ページ)

プログラム項目一覧

<table>
<tr><th>プログラム項目</th><th>概要</th><th colspan="2">選択項目</th></tr>
<tr><td>ON/OFF</td><td>タイマーの実行 / 解除を切り替えます。</td><td colspan="2">ON：タイマーを実行します。
OFF：タイマーを解除します。</td></tr>
<tr><td rowspan="11">曜日設定</td><td rowspan="11">曜日を選びます。</td><td colspan="2">EVERYDAY（毎日）</td></tr>
<tr><td>SUNDAY（日曜）</td><td rowspan="7">続けてタイマーが1回だけ働くか、毎週働くかを選びます。
❶ ［決定］を押します。
❷ "ONE TIME"（1 回のみ）または"EVERY WEEK"(毎週)を[I◀◀] / ［▶▶I］で選び［決定］を押します。</td></tr>
<tr><td>MONDAY（月曜）</td></tr>
<tr><td>TUESDAY（火曜）</td></tr>
<tr><td>WEDNESDAY（水曜）</td></tr>
<tr><td>THURSDAY（木曜）</td></tr>
<tr><td>FRIDAY（金曜）</td></tr>
<tr><td>SATURDAY（土曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">MON-FRI（月曜から金曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">TUE-SAT（火曜から土曜）</td></tr>
<tr><td colspan="2">SAT-SUN（土曜、日曜）</td></tr>
<tr><td>ON TIME</td><td>タイマーの開始時刻を設定します。</td><td colspan="2" rowspan="2">❶" 時 "を合わせます。[I◀◀] / [▶▶I]で選び[決定]を押します。
❷" 分 "を合わせます。[I◀◀] / [▶▶I]で選び[決定]を押します。</td></tr>
<tr><td>OFF TIME</td><td>タイマーの終了時刻を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PLAY MODE</td><td rowspan="2">AI PLAYのときはVOLUMEで設定した音量値まで徐々に上げていきます。</td><td colspan="2">PLAY：AI PLAY を解除します。
（VOLUME で設定した音量で再生します）</td></tr>
<tr><td colspan="2">AI PLAY：AI PLAY を実行します。</td></tr>
<tr><td>VOLUME</td><td>再生時の音量を設定します。</td><td colspan="2">0 ～ 40（MAX）の間で設定できます。</td></tr>
<tr><td>PLAY SOURCE</td><td colspan="3">TUNER(ラジオ)/CD/USB/D-IN/AUX から、再生する音源を選びます。
TUNER(ラジオ) を選択したときは、放送局をプリセット番号から 1 つ選びます。</td></tr>
</table>

■ タイマーを解除（OFF）/再設定（ON）するときは ...

［タイマー］を押す。

ボタンを押すたびにタイマー設定をON/OFFします。

表示	状態
1 点灯	プログラム1がONの状態
▼	
2 点灯	プログラム2がONの状態
▼	
1 2 点灯	プログラム1,2がONの状態
▼	
消灯	タイマーがOFFの状態

・電源をONにして設定してください。

ディスプレイセーバーを設定する（DISP. SAVER）

本機を一定時間操作しない状態が続くとディスプレイがスクロール表示され、ディスプレイの文字の焼きつきや、輝度ムラを防ぎます。

1 セットアップモードにする

[モード] を押す。

2 "DISP. SAVER"を選択する

[I◀◀] / [▶▶I] で選び、**[決定]** を押す。

DISP.SAVER

3 ディスプレイセーバーを設定する

[I◀◀] / [▶▶I] で選び、**[決定]** を押す。

表示	説明
D. SAVER ON	ディスプレイセーバーを、ONします。
▼	
D. SAVER OFF	ディスプレイセーバーを、OFFします。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットアップモードを終了します。

- 音源がCD/USBのときは、再生停止後10分間操作しない状態が続くとディスプレイセーバーが働きます。その他の音源を選んでいるときは、ボタン操作後10分間操作しない状態が続くとディスプレイセーバーが働きます。

ディスプレイの明るさを設定する（DIMMER SET）

ディスプレイの明るさを設定します。

1 セットアップモードにする

[モード] を押す。

2 "DIMMER SET"を選択する

[I◀◀] / [▶▶I] で選び、**[決定]** を押す。

DIMMER SET

3 ディスプレイ明るさを設定する

[I◀◀] / [▶▶I] で選び、**[決定]** を押す。

表示	説明
DIMMER ON	ディマーを、ONします。
▼	
DIMMER OFF	ディマーを、OFFします。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットアップモードを終了します。

- リモコンの[ディマー]でも設定できます。

省エネモードを設定する（A.P.S. SET）

A.P.S.とはAUTO POWER SAVE (オートパワーセーブ)の略で、電源がONでCDなどが停止状態のまま30分以上何も操作しなかった場合、自動的に電源がOFFになる機能です。

1 セットアップモードにする

[モード] を押す。

2 "A.P.S. SET"を選択する

[I◀◀] / **[▶▶I]** で選び、
[決定] を押す。

A.P.S. SET

3 省エネモードを設定する

[I◀◀] / **[▶▶I]** で選び、
[決定] を押す。

表示	説明
A.P.S. ON	省エネモードを、ONします。
▼	
A.P.S. OFF	省エネモードを、OFFします。

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットアップモードを終了します。

A.P.S.が設定されると **A.P.S.** が点灯します。

■ **A.P.S.モードがONのときは ...**
本体が以下の条件であるとき動作します。

- 音源にTUNER、AUX、D.AUDIO、DIGITAL INが選択されていて、音量が0でボタン操作がない場合
- 音源にCD、USBが選択されていて、CD、USB機器が停止中でボタン操作がない場合

録音出力レベルを調整する（Rec Out LEVEL）

[REC OUT]端子に接続した機器に録音した音が歪む、または小さいと感じたときは録音出力レベルを調整します。

1 録音出力を調整したい音源に切り替える

2 セットアップモードにする

[モード] を押す。

3 "RecOut LEVEL"を選択する

[I◀◀] / **[▶▶I]** で選び、
[決定] を押す。

RecOutLEVEL

4 録音出力レベルを調整する

[I◀◀] / **[▶▶I]** で選び、
[決定] を押す。

お好みに合わせて、録音出力レベルを**"－2～＋2"**の範囲で調整できます。

録音出力レベルを"＋2"にした場合

LEVEL +2

設定すると"COMPLETE"と表示され自動的にセットアップモードを終了します。

ディスプレイ表示を切り替える

［表示切替］または［TIME表示］を押す。

本機の動作状況や音源によりディスプレイに表示する内容が次のように切り替わります。

音源	［表示切替］		［TIME 表示］	
	再生中	停止中	通常 / プログラム再生モード	1 曲リピート / ランダム再生モード
CD （市販の CD） CD-DA フォーマット	曲名 * ▼ トラック番号・時間 ▼ 曜日 / 時計	アルバム名 * ▼ トラック数・全体の時間 ▼ 曜日 / 時計	再生中の曲の経過時間 ▼ 再生中の曲の残り時間 ▼ CD/ プログラム全体の経過時間 ▼ CD/ プログラム全体の残り時間	再生中の曲の経過時間 ▼ 再生中の曲の残り時間
オーディオファイル USB	ファイル番号・時間 ▼ ファイル名 ▼ フォルダ名 ▼ 曲名 ▼ アーティスト名 ▼ アルバム名 ▼ 曜日 / 時計	フォルダ・トラック数 ▼ ファイル名 ▼ フォルダ名 ▼ 曜日 / 時計	再生中の曲の経過時間	
D.AUDIO/ AUX DIGITAL IN	曜日 / 時計		―	
	放送局名あり	放送局名なし		
TUNER （ラジオ）	放送局名 ▼ 周波数 ▼ 曜日 / 時計	周波数 ▼ 曜日 / 時計	―	

表示できる時間は999分59秒までです。

* 曲名、アルバム名はCD-TEXTがある場合に表示されます。

知っておいていただきたいこと

本機で使えるメディア

メディア		説　明
USB	USB フラッシュメモリー	・**[USB]** 端子には、USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤー以外の機器を接続しないでください。万一、他の機器を接続して発生した故障や破損、データの損失などについては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
	USB マスストレージクラス対応デジタルオーディオプレーヤー	
CD	市販の CD	・コピーコントロール付き CD など、CD の規格に準拠していないディスクは再生できない場合があります。 ・書き込み時にファイナライズ処理をする必要があります。 ・CD-ROM、CD-R、CD-RW ディスクを記録した機器や記録状態、また使用している CD-ROM、CD-R、CD-RW の種類によっては本機で再生できない場合があります。
	CD-DA のフォーマットで記録した CD-R/CD-RW	
	MP3/WMA/AAC を記録した CD-ROM/CD-R/CD-RW	

ディスクに書き込むときのご注意

- パケットライト方式やUDF（Universal Disc Format）方式で記録されたディスクは再生できません。
- ディスク書き込み時は、必ずセッションクローズまたはファイナライズしてください。セッションクローズまたはファイナライズしていないディスクは、正しく再生できない場合があります。
- 書き込みソフトの仕様によっては、書き込まれたフォルダ名やファイル名が正しく表示されない場合があります。
- マルチセッションディスクや、フォルダを多く含んでいるディスクを再生する場合、再生が始まるまで通常のディスクより時間がかかることがあります。
- 同一のディスクに、オーディオファイルとCD（CD-DAフォーマット）を書き込むと正しく再生できません。
- オーディオファイルをディスクに書き込む前に、書き込みをするパソコンで、ファイルが正しく再生されることを確認してください。書き込みが終わったら、書き込まれたファイルが正しく再生されることを確認してください。
- オーディオファイルのファイル名には正しい拡張子（mp3, wma, m4a）を付けてください。拡張子が付いていないファイルは再生されません。また、オーディオファイルでないものには拡張子（mp3, wma, m4a)を付けないでください。拡張子については、「再生できるオーディオファイル」をご覧ください。（44ページ）

再生できるオーディオファイル

本機は以下のオーディオファイルが記録されたCD-ROM、CD-R、CD-RW、USB機器を再生できます。

MP3ファイル

ファイルフォーマット：MPEG 1 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3/ MPEG 2 Audio Layer 3 Lower sampling rate (MPEG2.5)

拡張子：.mp3

サンプリング周波数：

MPEG 1 Audio Layer 3：32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz

MPEG 2 Audio Layer 3：16 kHz/ 22.05 kHz/ 24 kHz

MPEG 2.5：8 kHz/ 11.025 kHz/ 12 kHz

ビットレート：

MPEG 1 Audio Layer 3：32 kbps ～ 320 kbps

MPEG 2 Audio Layer 3：8 kbps ～ 160 kbps

MPEG 2.5：8 kbps ～ 160 kbps

WMAファイル

ファイルフォーマット：

Windows Media™ Audio準拠

拡張子：.wma

サンプリング周波数：32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz

ビットレート：48 kbps ～ 192 kbps

- Windows Media™ Player 9以降の、以下の機能を使用して作成したファイルは再生できません。
  - WMA Professional
  - WMA Lossless
  - WMA Voice

AACファイル

ファイルフォーマット：MPEG-4 AAC（iTunes 4.1～8.0で作成されたもの）

拡張子：.m4a

サンプリング周波数：16 kHz/ 22.05 kHz/ 24 kHz/ 32 kHz/ 44.1 kHz/ 48 kHz

ビットレート：32 kbps ～ 320 kbps

- Appleロスレス・エンコーダで作成されたファイルは、再生できません。

ディスクフォーマット

ISO 9660 Level 1
ISO 9660 Level 2
Joliet
Romeo

USB対応ファイルシステム

FAT16
FAT32

ファイル数制限

最大フォルダ数：255

最大ファイル数：999

表示できる最大文字数

フォルダ名：64文字

ファイル名：64文字（拡張子含む）

タグ表示（Title/Album/Artist）

ID3 v1.0/ 1.1：30文字

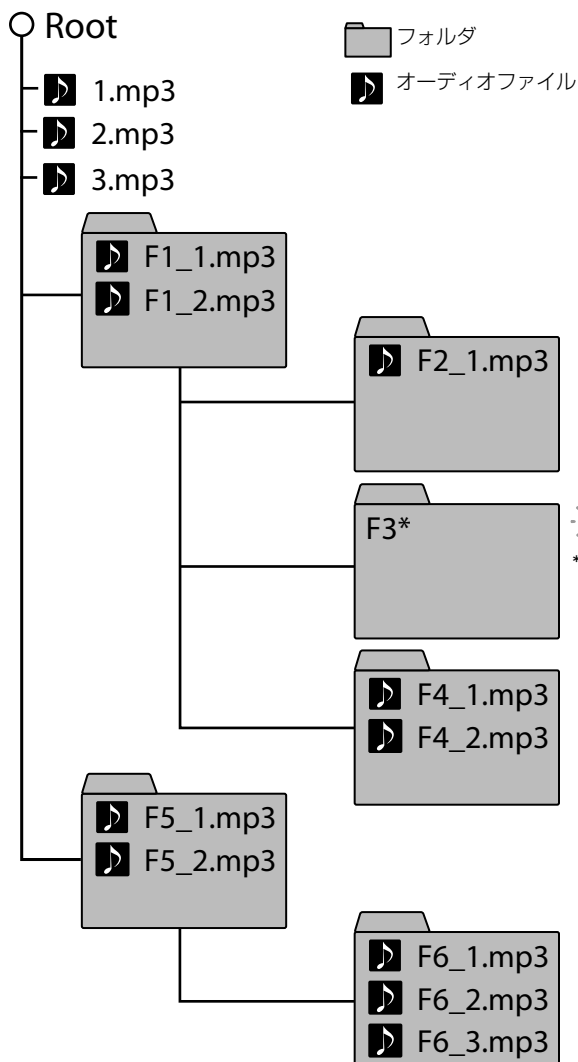
ID3 v2.2/ 2.3/ 2.4：127文字

- 表示できない文字は"＊"が表示されます。

その他の注意事項

- 前記の規格に準拠したオーディオファイルでも、ディスクの特性、記録状態などにより、再生できない場合があります。
- エンコードしたソフトの仕様や設定によっては、再生できない場合があります。
- DRM（デジタル著作権管理）付きファイルは、再生できません。
- VBR（Variable Bit Rate；可変ビットレート）でエンコードされたオーディオファイルは、対応ビットレートの範囲外になることがあります。このような対応範囲外のビットレートのオーディオファイルは再生できません。

フォルダやオーディオファイルの再生順について

オーディオファイルは、まず、Root（ルート）にあるものから再生されます。
次の図は、本機がフォルダやオーディオファイルを選択する順番を表したものです。

■ 再生順

1曲目	1.mp3
2曲目	2.mp3
3曲目	3.mp3
4曲目	F1_1.mp3
5曲目	F1_2.mp3
6曲目	F2_1.mp3
7曲目	F4_1.mp3
8曲目	F4_2.mp3
9曲目	F5_1.mp3
10曲目	F5_2.mp3
11曲目	F6_1.mp3
12曲目	F6_2.mp3
13曲目	F6_3.mp3

* オーディオファイルの無いフォルダはフォルダ表示されますが、曲が無いため選択できません。

知っておいていただきたいこと

CDの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 再生面にふれないように持ってください。
- ディスクアクセサリー（スタビライザー、保護シート、保護リングなど）は使わないでください。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているCDは使わないでください。
- 紙やシール、ラベルを貼らないでください。
- 鉛筆やボールペンなどで字を書かないでください。

本機で使用できるディスクについて

- CD（12cm）、CD-ROM、CD-R、CD-RW、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CD-ROM/CD-R/CD-RWディスクについて

- レーベル面に印刷可能なCD-ROM、CD-R、CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができなくなることがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

CDディスクのご注意

のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
- 円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- 8cm CDアダプターは使用できません。

CDの保管について

- 長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

CDが汚れたときは

- ディスクに指紋や汚れがついたときは、柔らかい布などで、放射状に軽くふき取ってください。
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

D.AUDIOの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーは付属していません。
- ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるD.AUDIOについて

- 本機またはリモコンでケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーをコントロールするには、別売のPNC-150（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー専用ケーブル）が必要です。

接続可能ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー

HDD オーディオ プレーヤー	メモリーオーディオ プレーヤー / レコーダー
HD60GD9/ HD20GA7/ HD30GA9/ HD30GB9/ HD10GB7	MGR-A7/MG-E502/ MG-E504/M2GD55/ M2GD50/M1GD55/ M1GD50/M1GB5/ M512B5/M1GC7/ M2GC7/M512C5

2008年12月現在

iPodの取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ずiPodに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にiPodは付属していません。
- iPodの使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるiPodについて

- 本機またはリモコンでiPodをコントロールするには、専用のiPod Dock PAD-iP7（別売）が必要です。接続できるiPodについてはPAD-iP7の取扱説明書をご覧ください。

USB機器の取り扱い

取り扱い上のお願い

- 必ず各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機にUSB機器は付属していません。
- 本体背面部の**[USB]**端子はUSB2.0（Full speed）対応です。
- USBハブを介してUSB機器を使用することはできません。
- USB機器の使用状況によっては、保存してある内容が失われる場合があります。保存してある内容が失われたことによる損害について、当社は一切その責任を負いませんので、ご了承ください。

使用できるUSB機器について

使用できるUSB機器の種類や使用方法には以下のような制限があります。

- USBマスストレージクラス対応であること。使用するUSB機器がUSBマスストレージクラスに対応しているかどうかは、販売店にお問い合わせください。
- 最大消費電流が「500mA」以下であること。

上記以外のUSB機器を使用するとファイルが正常に再生できない場合があります。また上記規格に準拠したUSB機器でも、種類や状態によっては正常に再生しない場合があります。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送または移動する場合は下記の操作を行ってください。

❶USB機器などの外部機器を取り外し、ディスクを取り出します。

❷**[CD►/II]**を押し、"NO DISC"がディスプレイに表示されるのを確認します。

❸数秒間待ち、電源をOFFにします。

❹その他外部機器が接続されている場合は、電源がOFFになっていることを確認してからケーブルを抜いてください。

メモリーバックアップについて

電源プラグをコンセントから抜いても各種設定は、約1日間保持されます。

保持される内容は以下の設定です。

音質・機器設定関係

- 音源切り替え
- 音量の設定
- 入力レベルの設定
- D-BASS、TONEの設定
- TIMER SETの設定内容
- DIMMER設定
- DISP.SAVER設定
- A.P.S.設定
- Rec Out LEVEL設定

チューナー関係

- プリセット放送局
- 選局方法の設定
（オート、マニュアル選局）
- 受信バンド
- 周波数

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置	参照ページ
音が出ない	・コードを正しく接続しなおす。 ・音量を上げる。 ・消音を解除する。 ・ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く。	11 ～ 13 18 18 13
[STANDBY/TIMER] インジケーターが赤く点滅し、音が出ない	・内部的な不具合が発生したと考えられる。本体の電源を OFF にし、電源プラグを抜いて修理を依頼する。	—
ヘッドホンから音が出ない	・ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 ・音量を上げる。 ・消音を解除する。	13 18 18
時刻が表示されない	・時計を設定する。	36
タイマーが作動しない	・時計を設定する。（[STANDBY/TIMER] インジケーターが橙色で点滅している） ・プログラムタイマーの開始時刻と終了時刻を設定する。	36 38

チューナー部

症　状	処　置	参照ページ
放送局が受信できない	・アンテナを接続する。 ・受信バンド（受信モード）を合わせる。 ・受信したい放送局の周波数に合わせる。	11 28 28
雑音が入る	・外部アンテナを道路から離して設置する。 ・本機の周辺にある電気器具の電源を切ってみる。 ・テレビから離す。	—
プリセットコールができない	・もう一度、自動で放送局をメモリする。 ・受信できる周波数の放送局をマニュアルプリセットする。	29 32

USB部

症　状	処　置	参照ページ
USB フラッシュメモリーや USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーを接続しても音が出ない	・USB フラッシュメモリーを正しく差し込む。 ・USB ケーブルを正しく接続する。 ・USB マスストレージクラス対応のデジタルオーディオプレーヤーの電源が入っているか確認する。	12

CD部

症　状	処　置	参照ページ
CD を入れても再生できない	• レーベル面を上にして、正しく入れる。 • ディスクの汚れをふきとる。 • ディスク表面に付いた露を蒸発させる。	19 46 46
音声が出ない	• **[CD►/❚❚]** を押す。 • ディスクの汚れをふきとる。	19 46
音とびがする	• オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	44
再生できないオーディオファイルがある	• オーディオファイルが壊れている場合は再生できない。 • 本機で再生できるオーディオファイルか確認する。	44
再生するまでに時間がかかる	• フォルダ数やファイル数が多いときは再生するまでに時間がかかる場合がある。	—
タグ情報が正しく表示されない	• 本機で表示できるタグ情報を確認する。	44

D.AUDIO IN端子に接続した機器

症　状	処　置	参照ページ
ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーがリモコン / 本体で操作できない	• 専用接続ケーブル PNC-150（別売）で接続する。 • 対応モデルかどうか確認する。	12 46

リモコン部

症　状	処　置	参照ページ
リモコンで操作できない	• 新しい電池に交換する。 • 操作範囲内で操作する。	9 17

本機をリセットするには

症　状	ここをご確認ください・処置
本機が誤作動する（操作できない、表示部の誤表示など）	電源が ON のときの接続コードの抜き差しや、外部からの要因により本機が誤作動することがあります。次の手順に従い、本機をリセットしてください。リセットすると、各種の記憶内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。 ❶ 電源プラグをコンセントから抜きます。 ❷ 本体の **[⏻] 電源**を押しながら、電源プラグを差し込みなおします。 "INITIALIZE" と表示されます。 本機がリセットされます。 INITIALIZE

メンテナンス

メッセージ表示一覧

ディスプレイ表示	意　味
CAN'T CLEAR	TUNER でプリセットチャンネル 40 を消そうとした。 （プリセット 40 は消せません）
CHECK DISC	• TOC＊[1] 情報を読むことができない。 • ディスクが正しく入っていない。
CAN'T PLAY	本機で再生できないオーディオファイルを再生しようとした。
NO DISC	CD ディスクが入っていない。
NOT SUPPORT	本機に使用できない USB 機器を接続した。
PGM FULL	プログラム再生で 33 曲目を設定しようとした。 （32 曲までプログラムできます）
PROTECTED	DRM（デジタル著作権管理）付きオーディオファイルを再生しようとした。
D-IN ----	入力信号のサンプリング周波数が 32k/44.1k/48kHz 以外です。
D-IN UNLOCK	• DIGITAL IN 端子にデジタル機器がつながれていません。 • DIGITAL IN 端子に接続されているデジタル機器の電源が入っていません。
D-IN NonPCM	DIGITAL IN 端子に PCM 以外の信号が入力されている。
NOT FOUND	USB 機器が接続されていない。本機で読み込めるファイルがない。

＊1：CDには音声信号以外にTOC（Table of Contents）という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書きなおすことのできないものが入っています。

用語集

用　語	意　味
AAC	正式名「Advanced Audio Coding」の略称です。デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
CD-DA	CD のこと。CD-DA ディスクは一般的に「CD」と呼ばれています。
CD-TEXT	ディスク名、アーティスト名、曲名等の文字情報が記録された CD の呼称です。
DTS Surround Sensation (DTS サラウンドセンセーション)	米国 DTS 社が開発した音声再生方式のひとつで、2 つのスピーカーで高品位な 3 次元サラウンドを実現する技術。音源は 2 チャンネルでも、3 次元サラウンドで臨場感のある音楽を楽しむことができます。
MP3	独 Fraunhofer IIS が開発した音声圧縮方式のひとつで、人間の聞き取りにくい部分のデータを間引くことによって高い圧縮率を得ることができ、CD 並みの音質を保ったまま約 1/11（128kbps）に圧縮することができます。
PCM	正式名「Pulse Code Modulation」の略称です。音声などのアナログ信号をデジタルデータに変換する方式の一つ。CD(CD-DA) は PCM 方式を利用しており、サンプリング周波数は 44.1kHz です。
USB	パソコンと周辺機器を接続するインターフェースの規格です。本機は USB 1.1、2.0 に対応しています。
USB ハブ	複数の USB 機器を同時に接続するためのアダプター。
USB マスストレージクラス	USB 機器をパソコンで制御するための規格。またパソコンに接続した USB 機器が、パソコン側から外部記憶装置として認識されること。
VBR（可変ビットレート）	音楽の情報量に合わせて、ビットレートを変化させて割り当てる方式。
WMA	米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media ™ Audio」の略称です。
サンプリング周波数	アナログ信号からデジタル信号への変換を 1 秒間に何回行うかを示す数値。CD の場合は 44.1kHz。一般的にサンプリング周波数が高いほど高音質となります。
タグ (TAG) 情報	タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど、ファイルに書き込まれている情報です。
ビットレート	1 秒間にどのくらいの情報量があるかを示す数値。ビットレートが高いほど高音質となります。

保管とお手入れ

本機の保管とお手入れ

次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 暖房器具の熱が直接当たる場所。

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴（露）が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

汚れたら

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコール、接点復活剤などは変色、変形の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

保証とアフターサービス

保証書

製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。（お問い合わせ先は、「ケンウッド全国サービス網」をご覧ください。）

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」に従ってお調べいただき、なお異常がある時は製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンターが修理をさせていただきます。

修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）

技術料：

製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。

部品代：

修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料：

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

送　料：

郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

ケンウッド全国サービス網

修理などアフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

2008年12月現在

北海道			
札幌サービスセンター	〒 007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎ (011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1（斎喜センタービル）	☎ (022) 288-3538
関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 330-0801	さいたま市大宮区土手町1-2(JA 共済埼玉ビル1F)	☎ (048) 647-6818
千葉サービスセンター	〒 277-0081	柏市富里1-2-1	☎ (04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
新潟サービスセンター	〒 950-0923	新潟市中央区姥ケ山1-5-37	☎ (025) 287-7736
目黒サービスセンター	〒 153-0042	目黒区青葉台3-17-9	
(修理持込専用窓口) 電話でのお問合せはカスタマーサポートセンターにて承ります。			
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎ (052) 917-2550
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 920-0036	金沢市元菊町21-87	☎ (076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎ (06) 6394-8075
高松サービスセンター	〒 760-0068	高松市松島町3-1	☎ (087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〒 731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎ (082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〒 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡１F	☎ (092)283-6675
鹿児島サービスセンター	〒 890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎ (099) 251-6347
沖縄サービスセンター	〒 901-2101	浦添市西原4-36-17(株)物琉2F	☎ (098) 874-9010

■ サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間　10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

カスタマーサポートセンター

■ 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960　　FAX 045-450-2287
受付時間　月曜～金曜　9:30 ～ 18:00
土曜　9:30 ～ 12:00、13:00 ～ 17:30（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）

住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

定格

[アンプ部]

実用最大出力………… 20 W + 20 W（JEITA 8 Ω）
全高調波歪率……………………………………… 0.05 %
（1kHz、1W、8 Ω、30 k Hz LPF時）
周波数特性 (JEITA) …………… 10 Hz ～ 20 kHz
トーンコントロール特性
BASS……………………………… ±6 dB（100 Hz）
TREBLE………………………… ±6 dB（10 kHz）
入力端子（感度／インピーダンス）
D.AUDIO/AUX (INPUT LEVEL 0のとき)
…………………………………… 300 mV / 27 kΩ
出力端子（レベル／インピーダンス）
録音出力 (REC OUT LEVEL 0のとき)
…………………………………… 900 mV / 10 kΩ

[チューナー部]

FMチューナー部
受信周波数範囲………… 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
アンテナインピーダンス ……………… 75 Ω不平衡
AMチューナー部
受信周波数範囲………… 531 kHz ～ 1,602 kHz

[CDプレーヤー部]

読み取り方式
………… 非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
D/Aコンバーター ……………………………… 1 ビット
オーバーサンプリング…………… 8 fs (352.8 kHz)

[USB部]

対応USB機器 ……… USBマスストレージクラスデバイス
インターフェイス… USB 2.0 (Full speed) USB 1.1互換
対応ファイルシステム…………………… FAT 16/32
供給電流…………………………………… 最大500 mA

[デジタル部]

対応サンプリング周波数
……………………………… 32 k/44.1 k/48 kHz
入力端子（感度／波長）………………… オプティカル
（−15dbm ～ −24dbm/ 660nm±30nm)

[スピーカー部]

エンクロージャー………………………… バスレフ方式
スピーカー…………………………… 80 mm コーン型
インピーダンス……………………………………… 8 Ω
最大入力……………………………………………… 30 W

[電源部・その他]

電源電圧・電源周波数
………………………… AC 100 V、50 Hz/60 Hz
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示）… 22 W
待機時消費電力……………………………… 0.5 W以下
最大外形寸法…………………………… 幅 390 mm
高さ 119.5 mm
奥行 267 mm
奥行 277.5 mm（突起部含む）
質量（重量）……………………………… 5.8 kg(正味)

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

お電話による使いかた・商品に関するご相談

カスタマーサポートセンター

受付時間　月曜日〜金曜日　**9:30 〜 18:00**
　　　　　土曜日　**9:30 〜 12:00、13:00 〜 17:30**
※ 日曜、祝日及び当社休日を除く

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-010-114

※一般電話･公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。

- 携帯電話、PHS、IP 電話からは **045-450-8960**
- FAX　**045-450-2287**

ホームページのサポート情報について

製品に関する一般的なご質問などをホームページにて、情報提供しています。ご活用ください。

http://www.kenwood.co.jp/faq/

修理などアフターサービスについて

お買い上げの販売店か、「**ケンウッド全国サービス網**」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3